

平成 28 年度長崎大学がんプロ養成基盤推進プラン在宅・地域医療実習

実習生：森 美央

実習先：安中外科・脳神経外科医院

たくま医院

実習期間：平成 28 年 6 月 27 日(月) ～ 7 月 8 日(金)

実習生感想：

梅雨の真っただ中、豪雨と快晴の中を、長崎在宅 Dr. ネット施設である安中外科・脳神経外科医院、たくま医院で実習させていただきました。

どんな天気であっても週 3 回、7kg の診療バックを担いで 150 段の階段を上った先のお宅を訪問する安中先生に、思わず大変な仕事ですねと声をかけました。「そうだね、でも僕はあの方に、大事な家族が眠るあの家でできるだけ長く過ごして欲しいんだよね。」と返す安中先生。詫摩先生には実習の初日に、「24 時間 365 日、診療する覚悟を持つことが在宅医療をする条件。人を好きじゃないとできない仕事だよ。」と教えていただきました。両先生方にはお話の端々にカッコイイ医療倫理を教えていただき、私は長崎大学医学部の校是となっているポンペの言葉を思い出していました。



訪問先のペットを可愛がる安中先生



150段を上って訪問。階段の白線は坂の町長崎ならではの風景なんだそうです。

さて、坂の町長崎では他県に比し在宅医療が活発であることは周知の通りですが、今回は長崎在宅 Dr. ネットという連携システムについて良く知る機会となりました。病診連携をスムーズにするためのシステムかなぁとぼんやり思っていたのですが、実際には病院、在宅医、種々のメディカルスタッフを含め、患者さんとご家族を何重にもサポートする包括システムです。中でも私の印象に残ったのは、在宅主治医とは別の在宅医を“副主治医”に設定することで、主治医も患者さんも安心できる丁寧な役職だと感じました。他にも勉強会や症例検討会を主催し、活発な意見交換の場となっているそうです。

安中先生は毎日午後、北は西山、南は脇岬の広範囲を走り回っておられます。小児から高齢者まで、胃瘻や呼吸器管理、褥瘡の治療など、外科医の技術を生かした診療が多くあり、私も一部お手伝いさせていただきました。



スタッフの方にお手伝いいただき、水疱を伴う褥瘡に処置。



腹水貯留の方。診察やエコー検査をさせていただきました。

あじさいネットを活用し、病院主治医よりシビアな病状説明を受けた患者さんに、今後の過ごし方や他の治療法を模索するかどうか等のインフォームドコンセントの場に立ち会わせていただきました。病院と在宅の 2 人の主治医より説明を受けられる安心感や、自分の生活まで知る先生に丸ごと考えてもらえる信頼感があるだろうなと思いました。

印象に残ったのは長い介護を続けるご家族も支える姿勢で、定期的に疲れていないか声をかけているようでした。言葉にするだけでも少し楽になるでしょうし、疲れ切る前にデイサービスやショートステイなどのシステムの利用も促せます。



伊王島訪問。素晴らしい天気でした。



詫摩先生はスピリチュアルな痛みへのケアまで重視されている先生で、これまでの人生や遣り残したことを訊くのに 30 分以上お話することもありました。「在宅医療は本人や家族の生活が基盤で、僕ら医療者は異邦人だからね。」と教えていただきましたが、どの患者さんも先生の訪問を楽しみに待っているように見え、もはや生活の一部となっているような印象を受けました。

実習期間中に亡くなった方がいました。前日の訪問にご一緒させていただきましたが、本人の苦痛を取ることや理想の死を叶えること、ご家族は慌てず気張らず見守ることを優しく説明しておられました。在宅看取りのインフォームドコンセントに立ち会うのは初めての経験で、具体的な手順や本人の人生に沿った旅立ち方など、学ぶことが多かったです。

私自身の担当患者さんについてご相談した折には、「出身はどこの人？人生観を知らないと思われとも押し付けになりうるからね。良く話した方がいいよ。」とアドバイスをいただき、病気のことしか見えていなかったと目から鱗の心持でした。



104 歳の方。プロ並みの娘さんの介護を受け、この表情。



長崎市の景観重要建造物やペーロンの練習に遭遇。街歩きの楽しさも。



以前の歌の発表会の DVD を
見せていただきました。

長崎大学医学部の校是となっているポンペの言葉は「医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものではなく、病める人のものである。もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい」という、少々厳しくも感じるものです。これを見事に体現されている先生方の背中を追いかけるこの 2 週間は、医師として数年を経た私を初心に戻す良い機会となりました。人へ尽くすこと、学び続けることを忘れず胸に刻み付けていきたいと思いました。

ご多忙中、熱いご指導をいただいた安中正和先生、詫摩和彦先生、諸スタッフの皆様には厚くお礼を申し上げます。



実習報告会にて